

基本方針

副会長 小島 聡太郎
担当委員会名／組織連携推進会議

我が国では、地震や集中豪雨のように、いつ災害に見舞われるか予測が困難な状況です。また、原発をはじめとするエネルギー問題、少子高齢化など様々な社会問題を抱えています。世界に目を向ければ他国の安全を揺るがす国があるなど安全保障に関する問題が山積みです。国内外から信頼を持たれる国としてあり続けるためには、各方面に於いてリーダーが必要です。まずは、自分たちの住み暮らす地域やまちを良くしたいという気概を持ち、リーダーを選択することが必要なのではないのでしょうか。

戦後70年を超え、日本国憲法改正に向けた議論が活発になってきました。この国の形ともいえるべき憲法に関して、我々は決して無関心であってはなりません。憲法の成り立ち、内容、問題点を正しく理解し、日本国民として一人ひとりが当事者意識を高め、真剣に議論することが必要です。2015年、公職選挙法の改正に伴い、選挙権が18歳に引き下げられました。若い世代の人達にも、政治や選挙に興味をもってもらう必要があります。多くの人に選挙の大切さを理解していただき、民主主義国家として他人事ではないことを示すことが我々JCの使命の一つであると考えます。また、学校教育の学習指導要領一部改訂に伴う道徳の教科化も始まります。歴史教育、祖先や親をはじめ他者を慮る心を育成するために運動を展開していきます。岐阜ブロック協議会には、17LOM600名程度の会員が在籍しており、その結束は強固です。各地域でそれぞれが特色あるまちづくり運動を展開しています。その運動やネットワークを活かし、有事の際は迅速且つ的確に救援活動が行える体制を構築します。

我々JCは、それぞれの地域での様々な事業を通して明るい豊かな社会の実現を目指しています。この目的を達成するため、たとえ小さな一歩でも前に進むべく運動を展開します。会員一人ひとりがリーダーであると自覚し活動することが個人を成長させると確信しています。地域に根差した県内17LOMがさらに結束し、愛と希望溢れる岐阜の創造に向け精一杯運動を展開して参ります。